



2025 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション
代表者 代表取締役社長 水越雅己
(コード番号 8119)
問合せ先責任者 取締役管理本部長兼チーフ・
コンプライアンス・オフィサー
(CCO)兼財務部長 岡崎克則
(TEL 03-3847-3500)

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績について、2025 年 5 月 14 日に公表した連結業績予想との差異が下記のとおり生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2026 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異について

・2026 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する中間 純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,000	700	700	430	45.37
実績値 (B)	17,655	765	808	456	48.10
増減額 (B－A)	△2,345	65	108	26	
増減率 (%)	△11.7	9.3	15.4	6.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	20,900	1,328	1,217	1,018	108.02

・差異の理由

コロナ禍収束後に急速に伸長した旅行・外出需要はその反動もあり伸び率が鈍化していることは否めず、また、訪日外客数の増加を背景にまだ堅調なインバウンド需要の内訳も「モノ消費」から「コト消費」へ推移しつつあり、それらの影響を特に大きく受けた服飾雑貨事業セグメントを中心に、売上高はすべてのセグメントで当初予想を下回る結果となりました。

利益面につきましては、売上高の減少により売上総利益が減少しましたが、トランプ関税での市場混乱による円高進行で売上原価率が一部改善したことや、ブランド販売子会社での販管費縮減が奏功し、営業利益、経常利益、親会社株主に係る中間純利益は当初予想水準の結果となりました。

2. 業績予想の修正について

・2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	40,000	1,300	1,300	600	63.12
今回修正予想（B）	37,000	1,300	1,300	600	63.12
増減額（B－A）	△3,000	－	－	－	
増減率（％）	△7.5	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	39,861	2,096	2,149	974	103.09

・修正の理由

前期から続く旅行・外出需要等の縮小トレンドは下半期も継続することが予想されるため、通期の売上高については当初予想を下回る見込みですが、家具家庭用品事業セグメントにおける EC 事業や欧州ブランド向け OEM 事業において売り上げの伸長が見込まれていること、また、防災関連分野の新規連結子会社の売上取込が下半期から始まることから、下半期の売上高は上半期比で増加することを見込んでおります。

利益面につきましては、下半期での売上総利益率の低下を予想しているものの、通期の営業利益、経常利益、親会社株主に係る当期純利益は、当初予想水準を確保できる見込みであり、当初予想からの変更はありません。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な要因により実際の業績は異なる結果となることがあります。

以上